



# 体験・出前授業 体験用具貸出し のご案内

当センターでは、出土文化財の展示、講座や講演会など歴史学習を支援する活動をしています。特に、本物の土器に触れての「土器分類体験」や石器（黒曜石）による「試し切り体験」、舞錐式火起こし器を使っての「火起こし体験」など「見て・聞いて・触れる」体験型の学習プログラムを用意しました。広く学校や地域と連携し、当時の人々の暮らしや歴史を楽しみながら学ぶことができる体験・出前授業に取り組んでいます。また、埋蔵文化財の遺跡や発掘調査について学ぶ機会として職業体験学習や成人向けの各種考古学体験講座も実施しています。

さらに、当センター周辺には沢山の学習スポットがあります。それらの見学や体験と併せた学習プランの御案内もさせていただきます。是非、多くの皆さんのお越しをお待ちしています。

なお、当センターにお越しいただけない場合は、従来どおり出前授業も行います。

## 1 体験授業の概要（プログラム例）

プログラム	内容	時間	
①展示室の見学	職員のガイドによる出土品の見学	30～50分	
②整理・保存処理作業見学	職員のガイドによる埋文センターの業務見学	20～30分	
③発掘調査と地域の遺跡	発掘調査と学校周辺の遺跡についての学習	20～30分	
体験メニュー	④土器分類体験	本物の縄文土器片や弥生土器片等の分類体験	30～40分
	⑤石器試し切り体験	石器の学習と黒曜石の剥片で物を切る体験	30～40分
	⑥火起こし体験	人類と火の関係を学習し、昔の火起こしを体験	30～40分
	⑦勾玉作り体験	勾玉の学習と石材を削り出して勾玉を作る体験	90～120分
	⑧ミニはにわ作り体験	古墳やはにわの学習と粘土でミニはにわ作りの体験	90～120分
⑨古代織物体験	古代織物の学習と実際に織物を織る体験	90～120分	
⑩職場勤労体験（講話）	埋蔵文化財発掘調査の仕事についての職業学習	40～60分	

※日程や体験内容等は事前に御相談させていただきます。出前授業は③～⑩のプログラムになります。

また、体験用具（火起こし・土器分類・石器試し切り）の貸し出しも実施しています。御相談ください。

展示室の見学



発掘調査と地域の遺跡



火起こし体験



石器試し切体験



土器分類体験



勾玉作り体験

職業体験（講話）

ミニはにわ作り体験

## 2 周辺の主な学習施設

静岡県埋蔵文化財センターでの体験授業に併せて、周辺での学習スポットを御紹介します。

エリア	学習スポット	学習プラン
旧富士川町 と富士市	富士川断層と雁堤 (かりがねづつみ)	富士川断層と治水の歴史を探る防災学習
	富士川渡船と間宿 (あいのじゅく)	渡船と交易で栄えた間宿岩淵を探る郷土学習
旧蒲原町	蒲原宿と堀川運河	蒲原宿を歩き、運河跡をたどる郷土学習
	蒲原城跡と烽火場 (のろしば)	城跡をたずね戦国の戦火をたどる歴史学習
旧由比町	東海道広重美術館と由比宿	広重美術館の見学と由比宿散策する歴史学習
	薩埵峠と富士山	富士山の眺望と峠越えの苦勞を知る体験学習
その他	静岡市立登呂博物館・ふじのくに地球環境史ミュージアム・富士山世界遺産センター	

※地域学習施設及びボランティアとの連携（学習交流館及びNPO団体等）に協力します。

※雨天時等は当センター内で昼食場所を提供します。御相談ください。

## 3 申込み方法 ※ 予約申し込みは、令和3年4月12日(月)8時30分から です。

### (1) 体験授業

実施日は火・木曜日です。予約は随時受け付けますので、ホームページ「体験・出前授業カレンダー」で御確認のうえ、電話でお申し込みください。

### (2) 出前授業

体験授業にお越しただけない場合は、出前による体験授業も実施しています。実施日は火・木曜日です。予約は実施日前月の10日から受け付けます。ホームページ「体験・出前授業カレンダー」で御確認のうえ、電話でお申し込みください。

### (3) 体験用具の貸し出しや展示見学、各種研修会

体験用具の貸し出しや展示見学、各種研修会も行っています。御相談ください。

\* 実施日、体験プログラム確定後に「体験・出前授業・見学・用具貸出依頼書」を提出していただきます。

なお、業務の都合上、御希望に添えない場合があることをあらかじめ御了承ください。

## 4 交通アクセス

徒歩：JR「新蒲原駅」から東へ約30分

\* 駅からの臨時バスの運行もできます。

車：国道1号線東蒲原ICから約3分

(小人100円 大人190円) 御相談ください。

東名高速道路 富士川スマートICより約15分

その他：マイクロバス、大型バスでのご来館も可能です。

### 御利用いただいた学校からの声

- 本物を見て、触って、当時の人々と同じことを自分達も体験していることに感動したようです。改めて、「本物」に触れる学習の大切さを認識しました。
- 学区の遺跡から出土した土器などの出土品を間近に見て触れ、地域の歴史をもっと詳しく知りたいと休日に遺跡を尋ねるなど意欲的に学習に取り組むようになりました。
- 体験授業がきっかけとなり、身の回りの歴史に興味を持つ児童が増えました。長休業中に市内の古墳を見

## 静岡県埋蔵文化財センター

〒421-3203 静岡市清水区蒲原5300-5

電話: 054-385-5500(代表)

FAX: 054-385-5506

Eメール: maibun\_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページ <http://www.smaibun.jp/>

